



雪椿

祝！卒業

— 第61回卒業証書授与式 —

3月1日（土）、晴れ渡る青空のもと、本校体育館にて「第61回卒業証書授与式」が挙行政され、32名の生徒が巣立ちました。

会場では、卒業生全員がステージへ登壇し、学校長より卒業証書が手渡されました。卒業生代表である前生徒会長の小杉美菜さんは、答辞にて「このような楽しい思い出がたくさんあるのは、紛れもなく目の前にいる31名のクラスメイトと一緒に高校生活を過ごすことが出来たからです。（中略）皆と過ごした高校生活は私の誇りであり、皆には感謝の気持ちでいっぱいです。」とクラスメイトへの感謝の言葉を述べました。

当日ご臨席いただいた来賓の方々、保護者の皆様、誠にありがとうございました。卒業生たちのさらなる飛躍を期待しています。



学校長より卒業証書を授与される卒業生



卒業生代表（前生徒会長）答辞



ご卒業おめでとうございます！



在校生代表（現生徒会長）送辞

2年生 総合的な探究の時間「最終報告会」

1月24日（金）、2学年の総合的な探究の時間にて、各活動班の今年度の活動内容をまとめた最終報告会が行われました。2年生はこの1年間、6班に分かれ自然・森林、食・農業、観光・暮らしをテーマに只見町の様々な場面で活動し、今回の最終報告会でその活動内容を、来年度引き継ぐ1年生と今まで協力してくださった町の方々に向けて発表しました。

協力者の皆様、今年度も大変ありがとうございました。今後とも、ご協力の程よろしくお願いたします。

テーマ	班
自然・防災	防災班
	自然PR班
食・農業	米・トマト班
	新名物開発班（甘酒班）
観光・暮らし	只見観光商品開発班
	只見観光PR班

防災班

①目的/目標

- ・自然災害の危険性を知ってもらい、防災にもっと関心を持ってもらう
- ・町内の方、観光客が安心して住める町にする

②活動内容

- ・避難所の写真撮影
- ・防災グッズの体験
- ・防災食の試食



③今後の計画

- ・防災マップの作成 等

自然PR班

①目的/目標

- ・只見町の自然と触れ合い自然を身近に感じてもらう



②活動内容

- ・様々な木や植物の観察（檜戸の森）
- ・ブナの間伐材の採取
- ・うまいもんまつりでの出店（木工体験）

③今後の計画

- ・森の散策、クロモジの観察 等

米・トマト班

①目的/目標

- ・より多くの人に米粉の良さを知ってもらう
- ・アレルギーを持つ人でも楽しめるお菓子を作る

②活動内容

- ・米粉を使用したレシピの考案
- ・米フェスでの出店（米粉使用のマフィン）



③今後の計画

- ・アンケートでいただいた意見をもとにした、さらなるマフィンの改良 等

新名物開発班（甘酒班）

①目的/目標

- ・只見の食を通じて只見を知ってもらう

②活動内容

- ・本校考案のじゅうねん甘酒の販売（インフォメーションセンター内）
- ・米フェス
- ・パッケージデザインとネーミングの改良



③今後の計画

- ・継続的なじゅうねん甘酒の販売 等

只見観光商品開発班

①目的/目標

- ・活性化できる町作り



②活動内容

- ・映画「青春18×2 君へと続く道」聖地巡礼スタンプラリー企画に関する台紙等のデザイン
- ・プロジェクションマッピングを用いた班作成イラストの投影（只見ふるさとの雪まつり）

③今後の計画

- ・スタンプラリー企画の実施 等

只見観光PR班

①目的/目標

- ・只見町に来る観光客を増やす
- ・Instagramのフォロワー600人

②活動内容

- ・只見線利用者へのアンケート
- ・Instagramの投稿（フォロワー600人達成）
- ・他の班活動に加わりPR活動



③今後の計画

- ・Instagramの投稿（週5） 等

本校の総探活動にご協力いただける方々を、引き続き募集しています！

2年生 震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部交流会

1月20日(月)、福島県教育委員会主催の令和6年度「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部交流会」が双葉町産業交流センターにおいて行われ、本校より2学年の生徒2人(総合的な探究の時間の防災班)が参加しました。

高校生語り部交流会は、高校生語り部事業実践校の生徒が、震災と復興に関連する探究活動の成果を他校の生徒と共有することを目的として開催されています。今回の交流会において、本校防災班の生徒は、東日本大震災と同年の7月に発生した新潟・福島豪雨災害について、当時の様子と現在の防災対策に関する発表を行いました。各校の発表後には、他校の生徒と意見交換する場も設けられ、探究活動がより深まるアイデアを得られる良い機会となりました。また、交流会のほか、実際に震災によって被害を受けた小学校の見学も行いました。調べて、聞いて、実際に見て、未来に語り継いでいくための知見を多くを得られた貴重な時間となりました。



本校の発表



他校の生徒と意見交換



震災の被害を受けた小学校

3年生 表彰式・同窓会入会式

2月28日(金)、3学年Camellia Snow Award表彰式及び卒業生表彰式が行われました。

Camellia Snow Awardは、今年度の学業・出席状況が優良であった生徒及び委員会や部活動における功労があった生徒に対する表彰であり、卒業生表彰は、3年間での学業等における優良者・功労者に対する表彰です。式中、ブックスハートプレゼント事業により只見町教育委員会より図書が、雪椿会及び生徒会より記念品が卒業生へ贈呈されました。

また、表彰式終了後、引き続き同窓会入会式が行われ、同窓会より記念品が贈呈されました。



表彰を受ける生徒

3年生 雪まつり雪像づくり

2月3日(月)～5日(水)にかけて、3年生は只見ふるさとの雪まつりに向け雪像を作製しました。今年の雪まつりは2月7日(金)～9日(日)に開催され、毎年会場では大雪像の他にたくさんの雪像も展示されますが、そのうちの1つとして3年生が作製した雪像も展示されました。

今回のテーマは「只見線」。大きな雪の塊を削り、列車の正面や車窓を細かく再現しました。また、車窓からは雪まつり当日に行われるプロジェクションマッピングが見れるようにしたのもこだわりの1つ。3年生は大雪に負けず頑張り、納得のいく素晴らしい雪像と思い出ができたことでしょう。



完成した只見線の雪像



雪像づくりの様子

只見町へ政策提言！



1月14日（火）、只見公民館にて、3学年教養コースの生徒が只見町へ政策提言の発表を行いました。

『10年後の只見町をより住みやすくする』という観点で行われた今回の政策提言では、事前に只見町各担当課及び只見町教育委員会より提示いただいた只見町の課題を基に、「総合的な探究の時間」を通して政策案を考え、只見町をはじめとする関係者の方々に向けて説明しました。（実際に発表した、各担当課等に関する政策案の概要は下記のとおりです。）



政策提言の発表の様子

政策案 No. 1 町民生活課

- ◆ 課題
 1. 町へ企業を誘致し税収増に繋げるためには
 2. 只見高校の卒業生と町が繋がりを続けるためには
- ◆ 政策案
 1. 雪室を活用したデータセンターの設置を提案
 2. 機能を追加した町の公式LINEに卒業生を招待して関係人口を増加

政策案 No. 4 保健福祉課

- ◆ 課題
 - ・ 健康寿命を延ばす各種講座へ来る高齢者を増やすには
- ◆ 政策案
 - ・ 誰もが見やすい、覚えやすい情報発信の仕方に変更して健康教室の参加者を増加

政策案 No. 2 交流推進課

- ◆ 課題
 - ・ 只見町を出た人材に交流人口として関わり続けてもらうには
- ◆ 政策案
 - ・ 町の行事、イベント等に合わせて町出身者へ仕事を依頼して交流人口を創出

政策案 No. 5 農林建設課

- ◆ 課題
 - ・ 適切な森林管理によって出る間伐材を有効活用するには
- ◆ 政策案
 - ・ 広葉樹の間伐材で伝統の「かじこやき」体験を実施して森林資源を有効活用

政策案 No. 3 総務企画課

- ◆ 課題
 - ・ 町への移住者ともなり得る、山村教育留学生を増やすためには
- ◆ 政策案
 - ・ 高校生と協力して学校生活や寮生活の最新情報を発信して移住候補者を増加

政策案 No. 6 教育委員会

- ◆ 課題
 - ・ 若い世代に子育てしやすいと感じてもらえる町にするには
- ◆ 政策案
 - ・ 高校生と協力して世代問わず参加できる地域交流会を実施して子育て環境を改善

編集後記

今回は、3学期の主なできごとについて書かせていただきました。私自身特に印象的だったのが、総合的な探究の時間の2・3年生の活動です。活動の節々に見られる、「只見町をより良くしたい」という熱い思いに心を打たれました。これから2年生の活動を引き継ぐ1年生にも、先輩方の思いは伝わったと思います。

校報「雪椿」は今年度これが最後の発行となります。来年度も何卒よろしくお願いたします。 [石川]